

第76回 JAMSNET-USA 定例会議団体活動報告

2025年2月16日 木曜日 午後4時35分～5時45分

Apple Time Family

(2024年11月～2025年2月)

- ・毎年恒例のクリスマス会を開催。今年で12回目となる。会員家族と支援者あわせて72名が集い、情報交換とともに親交を深めた。
- ・総会・新年会を開催。NY ウェストチェスターとNJ レオニアの2会場での対面とオンラインをつなぎ、会のミッション、2025年度の活動計画を協議。新年会では、東京海上記念診療所小児科・内科医加納麻紀氏より「予防接種」について講義をいただいた。
- ・北東日本語教師会 NECTJ 文化祭に参加。日本語を学ぶ高校生たちが日本語、日本文化に触れる文化体験機会で、Apple Time は遊びながらに日本文化を紹介するオリジナル・カルタを作成し、参加。Apple Time の子供もボランティア参加し、交流を図った。

日米ケア

日米ケアは サンフランシスコ地域で日本語と英語の両方を話せる精神科セラピストがメンバーとなって、可能なサービスを無料で提供し、メンバー同士での学びを実行していくことをミッションとしている。

2024年末までに、毎月メンバー同士で、ZOOM で日本語ケースコンサルテーションを日本からも出席できるような時間帯に行った。また年末にはメンバー同士の懇親会を会長重松先生のお宅で行った。

<サンフランシスコ近辺高齢者ケアサービス>

サンフランシスコ近辺の高齢者ケアサービス、Kimoch, Inc., J-Sei, Yuaikai によるソーシャルサービス、援助付き施設、他いろいろなクラスや催しは、現在順調に運営されている。ロス近辺のサービスも継続されている。

CJCAT

CJCAT としては、サクラヘルスフェアで子育て世代対象に、読み聞かせの物語が幼児の心に及ぼす影響、True psychological Meaning of the bedtime stories/ of children's books. というタイトルで、子どもに読み聞かせる物語に隠されている男女、年齢、社会的地位などに対する偏見に光をあて、保護者がより主体的に子どもに読む本を選ぶ意識を育むことを目的としたオンラインワークショップを予定しています。時間内に、物語の共有方法によって、親子がより深く心理的に繋がれる側面を参加者と共にディスカッションする時間も取る予定です。

また、近年会話の中でよく使われるようになった16瀬格診断テスト、あるいはMBTIのテストの結果（例えばENTJなど、4桁のアルファベットで表されるもの）について、Exploring your relationship to your MBIT type. というテーマでオンラインセッションを予定しております。テスト結果に一喜一憂したり、それに囚われて自分自身を制限したり、それを理由に仲間意識を募る、という側面とは別に、テスト結果に提示された要素が自分のどこからきているのか、その要素が自分の日々どんな影響を与えているのかリフレクト機会を持つことを目的としています。

Care the World (ケア・ワールド)

Care the World では海外にお住いの日本人ご家族の生活面、精神面、医療面、教育面でのサポート行っております。

メンタルヘルス カウンセラーとして・・・ここ数ヶ月の傾向として離婚のケースが目立ちました。その中でも in-laws との関係から生じる離婚ではクライアントの心の整理がなかなかつかず、心の葛藤が続いていました。またDVのケースでは日本人妻は離婚をしたくても、英語が話せない、アメリカでの資格がないから収入の安定した仕事につけない、小さな子どもを抱えて子どもを預けられない、帰国したくても共同親権となると帰国できない、弁護士を雇うお金がない、車がない、周りのサポートが得られないなどといった問題からのスタートでした。

1月にはNY邦人メンタルヘルスネットワークの皆さんにケニアの路上生活を営む子どもたちの救済活動、特に彼らの背負うトラウマの対処について報告させていただきました。

海外出産・育児コンサルタントとして・・・シアトルにおいて出産をひかえていた二家族のサポートを行いました。あるご家族はわずか1年の留学期間でありながらも、アメリカでの収入がゼロということで Medicaid が認められ、このように loop hole を探す試みに驚きました。二家族とも日本から親を呼び寄せず、夫婦だけで乗り切る予定でいて、そのような家族も増えています。最近では英語にある程度自信がある方々も増え、そのようなことから最近では帰国出産はほとんど見られなくなりました。

医療通訳士としては・・・ペットの死を決断するといったむずかしい決断を迫られるケースがありました。ペットも子ども同様家族の一員であるため、患者側の感情に影響されず、的確な通訳を勤めるのはチャレンジでした。医療通訳士としての certificate を維持するのにも continuing education があります。Ethics のクラスは毎年とるといった必須があり、またもやチャレンジは続いています。

ニューヨーク日系人会/JAA

2024年11月15日ー2025年2月20日

1. 毎月の定期法律相談室（移民法、相続・遺言、諸問題）は電話相談で継続。日々の相談やヘルプを随時行っています。グリーンカードの Renewal、米国籍の方への日本の年金証明作成、日本帰国の方の支援、ソーシャルセキュリティーベネフィット申請手続き等行っています。
2. シニアへのお食事会/敬老会を12月12日年末敬老会と1月23日の敬老会はJAA ホールで、会場での会食とピックアップ・デリバリーで、毎回120個のお弁当を用意しています。2月6日は日本クラブ主催、JCCI 後援で、新年シニア会を行いました。会場80人、'ピックアップ・デリバリー50個で、シニアは豪華な日本クラブ特性のお節弁当を楽しみました。日本食と日本語の懐かしい歌や毎月のお誕生会を楽しみました。
3. JAA ホールでのカルチャークラス（太極拳、書道、茶道、JAA コーラス）を毎週、毎月のシニアへの無料ヘアカット、そして、アップルキッズ主催の就学前の子供を対象にしたアートと音楽のクラスを灘田篤子さん指導で毎月1回行っています。
4. 12月6日 JAA 117周年記念晩餐会をハーバードクラブで、森美樹夫大使ご夫妻を含む200人のゲストを迎えて開催しました。ITO EN (North America), Inc. と Ms. Julie Azuma にコミュニティーリーダーシップ賞を授与しました。

5. 12月13日にホリデーパーティー&ボランティア慰労会を開催。この一年間ボランティアとして支援した皆さんに感謝しました。
6. 1月29日理事会・総会を開き、2024年度の会計報告の承認と今年の役員理事、名誉役員の紹介と2025年の各委員会の委員長が発表されました。JAAの2025年が始まりました。
7. 第17回サクラ・ヘルスフェアの企画募集を始めました。

JASSI (Japanese American Social Services, Inc.)

Asian American Federationを通じて受給したニューヨーク州からの助成金により、8月から12月に以下の新しいプログラムを開催いたしました。

1. 無料カウンセリング:

Medicaid や Affordable Health Insurance に加入されている方々が、日本語でのカウンセリングを受けることが難しい現状や、カウンセリングの長い待機期間といった課題に対応するため、日本語による無料カウンセリングを提供しました。本プログラムでは、これまで日本語でのカウンセリングを受ける機会がなかった方や、カウンセリングを受けることに不安や抵抗を感じていた方々が多く利用され、合計152回のカウンセリングセッションを実施しました。クライアントの皆様からは、「日本語で相談できることで安心した」「精神的に大きな支えになった」「高齢者もカウンセリングが定期的に必要だと実感した」といった声が寄せられ、プログラムの重要性を改めて認識いたしました。

2. シニア IT 何でも相談室:

シニアの方々が日常生活で直面する IT 関連の課題をサポートするため、「シニア IT 何でも相談室」を開催しました。本プログラムでは、スマートフォンやパソコンの基本操作から、アプリの使い方、オンラインサービスの活用方法まで、幅広い相談に対応しました。

- **個別相談対応:** シニアの方々が抱える具体的なITの悩みに対応し、一人ひとりのレベルに合わせた相談対応をしました。

- **実践型サポート**：スマートフォンの設定、メールの送受信、LINEやZoomの使い方など、実際に操作しながら学べる形式で指導しました。
- **定期開催とフォローアップ**：単発の相談ではなく、継続的にサポートできるよう、毎週相談室を実施しました。

参加者からは「スマートフォンをもっと活用できるようになって嬉しい！」「オンラインでの手続きがスムーズにできるようになった！」「遠隔医療を使用できるようになり、簡単に医者に相談できるようになった！」「海外旅行でMapを使用できるようになり、安全に旅行ができた！」など、シニアの方々がITをより身近に感じ、安心してデジタル社会に参加できるよう対応いたしました。

3. シニア・リビングセミナー：

2024年9月4日と11月20日に「シニアリビングセミナー」を開催し、対面およびリモートで両日100名以上の方々にご参加いただきました。本セミナーでは、シニア向けの住まいの選択肢や施設の種類の種類、長期介護サービスの利用方法について専門家をお招きし、詳しく解説していただきました。参加者の皆様からは、「今後の住まいについて考える良い機会になった」「施設の種類の種類や費用の詳細について知ることができた」といった感想をいただき、大変好評を博しました。また、質疑応答の時間では、個別のケースに関する具体的な質問も多く寄せられ、関心の高さがうかがえました。

本セミナーの録画はJASSIのウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

4. Food Delivery：

食事の準備が難しい高齢者、身体的、精神的な問題を抱える方々、物価の高騰で日本食を購入できない方々を対象に、Food Delivery（食料配達）プログラムを実施しました。クライアントから「日本食の素晴らしい今まで買いたかったけど我慢していた、お醤油や合わせみそ、お米を頂いてホントに涙をにじませて、本当に、ほんとに有難うございます！」「日本食料品のデリバリー、本当に嬉しいです。91歳なので、なんとと言っても日本食料品は何よりも口に合います」とのお声をいただきました。

「今後の予定」

- 対面茶話会は毎月第2月曜日に開催しております
- リモート茶話会は毎週月曜日（第2月曜日を除く）に開催しております。

ニューヨーク邦人メンタルヘルスネットワーク活動報告

前回定例会（2024年11月）からの活動報告

メーリングリストによるメンバー同士の情報交換を常時行っています。メンバー各々の専門分野での有益なウェビナーや文献などの情報、リファーマル情報、日本の事情など、様々な情報を共有しています。

JAMSNET ホームページの「COVID-19 パンデミック中の心のケア」での無料メール・電話相談を引き続き行なっています。子どもに関する相談はNY日本人教育審議会教育相談室でバーンズと森が、DVに関する相談はWOMAN KINDの永尾氏が、それ以外の大人の相談は他のメンタルヘルスネットワーク有志で受け付けています。

ニューヨーク邦人メンタルヘルスネットワーク会合

1月22日（水）にノーラ・コーリさんによるケニアでの Street children 救済活動オンライン報告会を行いました。ノーラさんはケニアでホームレスの street children を救うある団体のミッションに参加されました。子ども達はそのリハビリ施設に3か月間暮らし、メンタルケアはもちろん生活に必要な様々なスキルを学びます。包括的で素晴らしい支援プログラムで、そこでノーラさんは、どのように子どもたちを路上生活から救い、どのように健康的な家族の環境に戻すかということ、実際に支援を行いながら学ばれました。それらの学びのいくつかを今回ネットワークメンバーと共有していただきましたが、其々の子どもの家庭内の問題、またコミュニティや国レベルのシステム的な問題についても触れられました。普段あまり聞く機会がないトピックの情報を、実際に現地で支援活動に携ったノーラさんから直接聞ける貴重な機会となりました。

参加者の満足度は5点中4.5の高スコアで、感想には「アメリカとはリソースや環境があまりに違う国で、またケニアのようにトラウマサバイバーを取り巻く社会がトラウマへの理解を示さない（知識がない）状況で、トラウマを抱える人がどのようなヒーリングの道筋をたのか、効果的な支援の在り方とはどんなものかについて考えさせられた」、「話の内容がよくま

とめられたおりわかりやすく、話のテンポが適切、声のトーンも穏やかで話を聞いているのが心地良い時間だった、これは練習や経験だけから来るものではなく、ノーラさんのお人柄だと感じた」などがありました。今後も様々なトピックでワークショップや Webinar を企画して行きたいと考えています。

メンバーによる主な活動

1月20日（火）（日本時間1月19日）

「海外の特別支援教育」についてオンライン研修

講師：バーンズ亀山静子

文科省の依頼で在外教育機関にこの春派遣される教員を対象に行われました。（参加者：約50名） 海外在住の日本人の子どものスペシャルニーズ、その対応サービスの在り方、現地のサービスや専門家との連携、人権としての合理的配慮の提供、通常学級からの変革という観点で話し、大変好評を得ました。

1月21日（火）にこどものくに幼稚園で保護者対象「海外での子育て」おしゃべり会

Facilitator：バーンズ亀山静子

お茶を飲みながらざっくばらんに日常の子育て、バイリンガル育児などに関して話し合いました（参加者：15名）。お子さんの発達に心配のある保護者も参加されており、事後に個別の相談も受けました。

福島県の遠方支援

前回からの報告は特にありません。

ニューヨーク日本人教育審議会教育相談室

（2024年11月～2025年2月13日）

前回（2024年11月）以降の活動報告をいたします。

1）無料電話・メール相談

・電話やメール相談を継続しています。以前からの内容（Special Education のシステムに関し

での問い合わせ、発達障害の疑い、親子関係やしつけの問題、不登校、学校選び、学校とのつき合い方、学習の問題等) が主になっています。

2) 面接相談

・基本的に相談室での面談をしています。ただ、コロナ禍で始めたオンラインの利便性も活用して保護者のコンサルテーションなどはご希望によってオンラインでも行っています。

3) ワークショップ等

<ワークショップ>

・1月21日(火)(ニューヨーク時間1月20日)に文科省の依頼で在外教育機関にこの春派遣される教員を対象に「海外の特別支援教育」についてオンライン研修を行いました。(参加者:約500名)海外在住の日本人の子どものスペシャルニーズ、その対応サービスの在り方、現地のサービスや専門家との連携、人権としての合理的配慮の提供、通常学級からの変革という観点で話し、大変好評を得ました。

・1月21日(火)にこどものくに幼稚園で保護者対象の「海外での子育て」に関してのおしゃべり会を行いました。お茶を飲みながらざっくばらんに日常の子育て、バイリンガル育児などに関して話し合いました。お子さんの発達に心配のある保護者も参加されており、事後に個別の相談も受けました(参加者:15名)

4) その他

JCOPのグラントを今年もいただきました。これは大変光栄であり、感謝しています。引き続き今後の邦人コミュニティへの啓蒙活動に生かしていきたいと思っています。またJCOPグラントのおかげで現在、米国在住邦人家族を対象とした「Post-COVID Asian Hate と在米邦人のメンタルヘルス」調査研究も行っています。調査結果が出ましたら、改めてご報告させていただきます。

Sanctuary for Families

引き続き hybrid にてカウンセリングや法律相談をはじめ様々なサービスを提供。the BxFJC(Bronx Family Justice Center)にあるオフィスでは2月下旬より週一でサポートグループ(Common Threads Project)を開催予定。約六か月にわたるグループで8月末まで毎週開催予

定。これは刺しゅう、そしてその他のアート、治療的なゲームや簡単な体操、トラウマに関する心理教育などを盛り込んでトラウマからのヒーリングを図るもの。現在、参加者を募っているところで今回のグループは英語にて開催。

NY de Volunteer

報告期間：2024年11月～2025年2月現在

私たちはニューヨークでのボランティア活動を通じて、社会貢献の最初の一步を踏み出すきっかけを提供し、社会課題の解決に向けて自発的に考え、行動するチェンジメーカーを社会に送り出すことを目標に活動しています。

1. 活動報告

(1) 日本語を学ぶ大学生との日本語チャットクラブ

コロンビア大学およびNYUが主催する日本語を学ぶ大学生と日本語母語話者とのチャットクラブを、今期計4回（2024年11/22、11/27、12/6・2025年2/14）開催しました。オンラインと対面の両方で実施し、毎回数時間で定員が埋まるほどの人気のプログラムとなっています。オンライン開催では日本からのボランティア参加もあり、国境を超えた交流が生まれました。

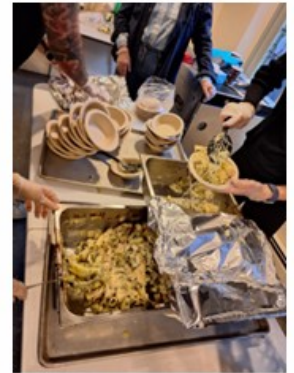
(2) 2025年2月12日 NECTJ文化祭

毎年NECTJ（北東部日本語教師会）が主催する、NECTJ文化祭（昨年度までは春祭り）に参加しました。このイベントには、ニューヨーク近郊の高校で日本語を学ぶ約150名の生徒が集まり、日本の文化を体験しました。当団体では折り紙ワークショップブースを出展し、生徒たちに日本の伝統文化を紹介しました。ボランティア参加者からは、「普段接点のないNYの高校生と交流でき良かった」「日本への関心が想像以上に高くて驚いた」など、満足度の高い感想が寄せられました。



(3) 2025年2月15日 St. Joe's Soup Kitchen

マンハッタンの St. Joe's Soup Kitchen でホームレスや困窮した状況下にある方々に温かい食事を無料で提供するボランティア活動に参加しました。この日は雪が積もる寒い中、多くのゲストが訪れ、パスタやスナックなど計 280 食以上の食事を届けることができました。参加者からは、「アメリカ社会を別の視点から見る貴重な経験になった」「受益者と直接コミュニケーションが取れ、やりがいを感じた」などの声が寄せられ有意義な活動となりました。



2. 今後の予定

(1) 広報活動の見直し

これまで運営スタッフや各イベントのボランティア募集は、主にメールマガジンを通じて行ってきましたが、今後は SNS、特に Instagram を活用した募集活動を強化します。また、通年募集している運営スタッフはコミュニティ掲示板や Facebook グループなども活用し、より多くの方に応募していただけるよう取り組んでいきます。

(2) 5月10日 Japan Parade への参加

今年で4回目となる Japan Parade に、昨年に引き続き参加する予定です。今年もパレードの最後尾を歩きながらゴミ拾いを行う「Clean-up ボランティア」としての活動を予定しています。4月頃にボランティア募集を開始しますので、みなさまのご参加をお待ちしています！

公式 SNS では、ニューヨークでのボランティア活動の魅力やイベント情報を配信中！

たくさんのフォロー&いいねをお待ちしています♪

Instagram : @nydevolunteer

<https://www.instagram.com/nydevolunteer/>

Facebook : NY de Volunteer (JPN)

<https://www.facebook.com/NyDeVolunteerjpn>

もみの木

2024年10月～2025年2月7日までの活動報告

子育てグループ

〈親子お話し会〉日程調整中

〈図書の貸し出し〉引き続きメリーランド州のたんぽぽ学園日本語幼稚園・小学部低学年に貸出し 赤ちゃん絵本 貸出あり

〈中学生・高校生日本語ボランティア〉日本語でお手伝いの必要のあるグループや個人を対象に、日本語で読み書きなどの対応が可能な中学生・高校生のお手伝いを送るサービス。中高生は、ボランティアサービスの時間を得て、カウンティに提出することができる。

2024年10月23日から2025年2月8日まで15人の中高校生 プラス 2名大学生が参加 延べ時間数 162時間のボランティア時間

〈コミュニティビルディング〉

10月26日 世代間交流会 シニア 96才から3才児までの幼稚園児・小学生の通うたんぽぽ学園協賛による世代間交流会を開催 中高校生ボランティアや幼児・児童の保護者の協力のもと、園児・小学生たちの歌やダンスなどの出し物、盆踊りをシニア・保護者・園児・小学生・中高校生で踊り、ランチ時は中高校生 テーブル+シニア、保護者+シニアの組み合わせで、話を弾ませてお弁当をいただいたという企画

12月30日 年末お餅つき大会 持ち寄りランチ+お餅あんこ+きなこ+醤油餅+各家庭でもち米を持参し、新年用に持参したもち米を付いて持ち帰る

1月26日 ワシントン商工会新年会のお手伝い 日本の伝統的なお正月遊びなどのブースを前準備・巨大達磨落としの作成・的入れゲーム作成・小さいお子さんでもできる射的ゲームの作成・人間すごろくの作成・子ども商店街の備品作成 当日のブースオペレーションにボランティアとして中高校生の手配・上記5ブースの当日のセットアップとオペレーション業務の手配

ひなたぼっこ会

〈今回の活動報告〉 会員からお話を伺いながら、テーマにそって情報交換・交流会を開催
2024年10月22日 テーマ「親はどこまで学校に口出ししてよいのか」

2024年11月 テーマ「IEP」って？

2024年12月 メンバーランチョン

2025年1月 テーマ「障害について、訊いた？言った？」お子さんと障がいについてコミュニ

ケーションとったことありますか？ 2025年2月テーマ「ライフスキルを身につけるために親ができること」

もみの木シニアサポート

〈ランチ会〉日本人または日系人の方で要介護とメモリーケアにお住まいのシニアに日本食ランチを持って月に1度訪問。日本語を話す方々に、日本食を食べ、を集め、日本語での会話や歌を歌い楽しい時間を過ごしていただく。1月1日おせち料理9名2月2日97歳のお誕生会参加者6名

〈シニアホームへお弁当の配達サービス〉月に1度、日本食ランチを希望されるシニアの方々に電話で注文を受け、もみの木でまとめて注文をし、配達をする宅配サービス。お惣菜とデザートは和菓子を毎回ボランティアが手作りしてお弁当と一緒に配る

11月15日 お弁当18食 +お惣菜 おでん+和菓子 カステラ

AADA (Asian Against Domestic Abuse, Inc.)

報告期間：2024年11月1日 - 2025年1月31日

1. 研修活動

- 当団体オフィスで Harris County Public Health の Holistic Assistance Response Team (HART)による研修を実施しました(11/12/2024)。HART は、テキサス州ハリス郡で運営されるプログラムで、優先性の低い健康や福祉の課題に対応し、緊急性のない911コールや法執行・医療介入を削減することで、コミュニティの健康と安全を向上させることを目的としている。

2. 広報活動

- 当団体が入居する Chinese Community Center ビル内パーティースペースにて、クライアントのための Thanksgiving Party を開催しました(11/17/2024)。本イベントでは、日々の生活に苦しんでいるクライアントだけでなく、彼女たちの子供たちとも交流を深める機会となり、温かく楽しいひと時を提供することができました。
- 2025年1月より政府機関が提供する健康福祉制度への申請代理を始めました。SNAP, HIP, Medicaid, Health Insurance Marketplace, Prenatal Care, Women's Wellness 等、当団体クライアントである DV 被害者に限らず、どのような方へもお申し込みのサポートを提供するようになりました。

3. イベント等

当団体が入居する Chinese Community Center 主催のファイナンシャルセミナーがオンラインで開催されます（英語）。本セミナーは毎月1回、異なるテーマで実施され、各金融機関から招いたスピーカーが講義を行います。参加費は無料ですので、ご興味のある方はぜひご参加ください。また、関心のある方へ共有していただくことも歓迎です。セミナーの内容及びスケジュール、参加登録は以下の Chinese Community Center の Financial Opportunity Center のサイトをご参照下さい。

<https://ccchouston.org/foc/>

フィラデルフィア日本人会

1. 和の交流シニアコミッティによる英語茶話会

2024 年度第 8 回英語シニア茶話会は、11 月 20 日（水）午前 10 時よりメンバー 7 名参加のもと Zoom にて行われました。

テーマは「長い人生の中で、あなたを怖がらせたり苦しめたりしたもの、そしてそれをどのように克服したのか」。それぞれが「ロッククライミングの最中に覚えた恐怖の話」、「別の国に初めて訪れた時に完璧に迷子になった話」、また「ある重病にかかり闘病した時の恐怖」、「車の事故にあった時の恐怖」、「子供のころに転校先で友達にいじめられた時の混乱した恐怖」などを話した。それぞれこのような恐怖の体験を乗り越えてきたからこそ、今の幸せがあるのだと感謝し、皆で有意義な時間を過ごした。

2. コーラスグループイベント

11 月 23 日にコンベンションセンターで開催された AATJ Teachers Award Luncheon にて「虹」「ふるさと」「山のいぶき」など数曲を歌った。「虹」と言う曲は森山直太朗と御徒町凧が、作詞・作曲を手掛け、信長貴富編曲の大曲で特にリズムが難しいため、ピアノを弾きながらの指揮は難しかったため、急遽指揮をバツタ大先生にお願いしてお披露目となった。アワードランチの途中に歌わせていただいたにもかかわらず、さすがアメリカ各地からお集まりになった教育者の方々、お食事をされる手を止めて、真剣にじっくり聞いていただき、古い日本の歌にじんわり涙を流していた方も見受けられた。あんなに真剣に私達の歌を聴いてくださって、ほんとうに有難かったです。こんな素敵な機会をくださった AATJ 企画の方々、また繋いでくださったバツタ先生へ大変感謝している。

また、12月1日には Overbrook にある JCCP(フィラデルフィア日本人教会)にてクリスマスコンサートを開催した。クリスマスの歌を数曲歌い、メンバーの近藤充、順子夫妻には歌とギターの素敵な演奏もしていただいた。最後はもちろん皆さんとシングアロングで楽しいひと時を過ごした。企画をしてくださった JCCP の松野牧師に感謝している。

そして年が明けた1月19日には The Drexelbrook にて開催された日本人会新年会、雪予報の中、多くの方が参加された。こちらでも「虹」を歌った。Sing Along で会場の皆さまと一緒に「ふるさと」を歌ったのも楽しかった。2025年の新年会のご盛会、誠におめでとうございます。

2月からは心機一転、コーラスの練習を月2回で再開する。新しい曲は「ひとつの朝」と言うドラマティックな曲、これはまた大曲だ。男声が少し増えてきたので、男声がキーのこの歌にチャレンジしよう！と言う事になった。

3.東和エッセイコンテスト授賞式

東和エッセイコンテストは、日系人である東和モリスさんのご遺志により創設され、NY日本領事館の後援を得て1999年から当会が主催しています。今年度の「第23回東和エッセイコンテスト」は、中学生部門「地球環境を守るためにできること」、高校生部門「平和な社会とは」というテーマに対し、全部で55作品の応募がありました。厳密な審査の結果、入賞した中高生を称える授賞式を1月11日(土)オンラインにて執り行った。ご協賛団体、審査員の皆様をはじめ、多くの方にご支援いただきましたことを、この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。今後も多くの中高生に興味と関心を持って学ぶ機会となり、未来ある日米関係の懸け橋となるコンテストにしていきたいと考えています。

4. 年次総会

2025年1月19日、新年会に先立ち、会場の The Drexelbrook にて新年度の年次総会が開催された。会長の船木真理と会計の大西ひろ子より2024年度の活動および会計報告がなされ、更に2025年度について、会員間の交流と情報の提供などを通じ、フィラデルフィア地域の日本コミュニティ発展に貢献するとの方針が表明された。そして具体的な活動内容とこれらの行動を行う組織編成の紹介がなされた。

5. 新年会

2025年1月19日、年次総会に続き新年会が開催された。詳しくは、別途報告いたします。

6. 和の交流シニアコミッティによる英語茶話会

2025年度第1回英語シニア茶話会は、1月22日(水)午前10時よりメンバー7名参加のもの

と Zoom にて行われました。

テーマは「テーマは「アメリカ人と日本人の間の誤解や思い違い」でした。アメリカ人と日本人の間での勘違いは驚くほどたくさんある。メンバーの1人は、相手の視点は習慣を事前に学ぶことで、勘違いを防ぐことも可能であると話した。

ニューヨークすくすく会・お茶会

(2025年1月～2025年2月分)

すくすく会主催(2025年1月～)

・2025年(4月第2-3週目で調整中)妊婦さんとパートナーのためのプリママ講座

Zoom ウェビナーSakura health

産婦人科医からは妊娠から出産への流れやアドバイスを、小児科医からは出産後について、助産師・授乳コンサルタントからは母子ともに幸せに過ごせる母乳育児の方法等について講義

・2025年5月4日(日)心肺蘇生法ワークショップ

JAA ホールにて Sakura Health 対面にて成人と子供の心肺蘇生法、喉に物を詰まらせた場合の対処法についての講座を開催

・2025年4月27日(日)キッズ Life Science Forum

JMSA 主催の毎年恒例 Kids Life Science Forum 子供達に科学や医学の楽しみを知ってもらうイベントに、すくすく会からもブースを提供する予定です。

・2025年9月28日(日) Dr.Yuusuke Matsuura

小児発達に関するフリーウェビナー。 *Yusuke Matsuura, M.D. MPH*

Fellow of Developmental-Behavioral Pediatrics

University of Washington/Seattle Children's Hospital

「お茶会」

「第26回すくすくお茶会～親子リトミック」

日時：2025年4月7日 月曜日 9:45am～10:45am

場所：JAA ホールにて。Sakura Health

講師：ピアノ講師-渡邊 佳子、森 祐美(小児看護師(日本))、林 里奈(ベビーマッサージ講師)

「すくすくスモールお茶会」 in-person event

助産師による託児付きお菓子教室＋小児科看護師による家庭内での事故予防についての講義

第1回 1月30日(木)10:00am～1:00pm

講師:Yuriko (パティシエ)、山崎三奈子 (小児科看護師 (日本))

参加者:親子5組 定員満員

場所:Les Confiseries de YURIKO 講師宅 (Westchester)

折り紙療法審議会(OTA)

 2024年11月～2025年2月活動報告書					
Date	Place	Event	Organizer	Note	Details & Reflection
1 12月28日 土曜日 11-11:40	オンラインズーム	OTA 折り紙ワークショップ オンライン	OTA	インストラクター:小林利子、ユンホンパーク	2025年十二支蛇と亀 参加者の1人が、ホイル紙で、蛇の形などを変えたりしていました。
1月12日 日曜日 14-17	対面式	OTA ありがとうパーティーとミーティング	OTA	インストラクター:小林利子、カミラ アジメヤス、シェンハン、ネナ	OTA からインストラクターに向けて提供したポットラックパーティーでした。OTAの将来やまたその計画、今年の活動について話し、それぞれの折り紙を見せ合いました。
2 2月8日 土曜日 11-11:40	オンラインズーム	OTA 折り紙ワークショップ オンライン	OTA	インストラクター:バーバラパール、ロツシエルマッセ	バーバラが、羽のあるハートを教えました。ノースカロライナと彼女の家の近くでの展覧会を教えました。ロツシエルは、2年前に買ったお気に入りのハタバタ鳥を教えました。
1月5日 日曜日、2-5pm インドにて	対面式	心理療法評価と精神医療学への介入	OTA India	サントルプシーダス "ガン患者と生存者のための折り紙セラピー療法"	
2月12日 水曜日 10-12:15	対面式	UN 国際学校文化祭、ハンター大学にて折り紙ブースをオープン	OTA	やまきゆりこ、はやしりな、レオナルドキム、小林利子	

BOSTON MINDFUL ORIGAMIは、この期間中、数回折り紙クラスを行いました。

インストラクター:大竹順子

WOMANKIND

(11月から2月)

各種プログラム

Children and Youth Program

Womankind では秋は様々な子供向けプログラムのスタート時期でもあります。今年も10月から Youth Empowerment program (リーダーシップ、社会問題への取り組みに焦点をあてた一年のプログラム)、Asian Youth Program (コロンビア大学との提携で提供されている一対一のメンタリングプログラム)、Drawing and Truth Group mentoring program (13 - 18歳の子供を対象にしたグループメンタリングプログラム。毎週土曜日、一年間を通じてアイデンティティ、人間関係、社会参画などを学ぶ) の三つが始動しました。

Events

12月14日、Womankind 恒例のクライアント向け大型イベント、ホリデーパーティが開催されました。今年も Trinity Church, St. Paul's Chapel を会場に、家族全員が楽しめるアクティビティ、食事、エンターテインメント、ギフトなどが提供され、200名を超える参加者で会場場埋まり、大盛況でした。

Human Trafficking Awareness Month 2025

1月は人身取引啓蒙月間となっており、例年 Womankind では様々なテーマに焦点を置いて、カンファレンスを催している。今年で12回目を迎える会議のテーマは"Deconstructing the Gender Paradigm: Supporting Male Survivors in AAPI Communities" 女性が多く被害に遭うこの問題に関して、男性被害者の経験とプロバイダーとしてどのように支援の手を差し伸べるのかについて様々なプロバイダーが意見を交わした。

その他

2025年新たな大統領の下、大きな政策の変化が Womankind のクライアントたちに及ぼす影響を懸念しているが、私どもは団体の Mission/Vision に基づき、引き続き Gender based violence のサバイバーへの支援を続ける次第です。引き続きよろしく申し上げます。 以上

JB Line

(2024年11月-2025年2月まで)

【当期間の活動】

- 日英サポートライン
- コミュニティベースド（ケースマネジメント）
- シニア支援：ケースマネジメント、訪問、サポートグループ（お話の【わ】の会、歌の会、Zoom Fitness）を行っています。
- 親子支援：
 - 2024年の Giving Tuesday での寄付および、JCOP グラントを頂き、「2025年1月1日からニューイングランド地方で生まれたご家族に対し「あなたのあかちゃんに日本の絵本を」というプロジェクトをスタートしています。
 - これは孤立しがちな海外での子育てを支援し、必要な時には JBLine が相談窓口であることを広報するための活動です。
 - 同時にテーマを設定したサポートグループも毎月開催、予想を超える出席者があります（15-20人）。ニーズの高さを実感しています。
 - 今年も隔月の Zoom Meet-ups、対面でのミートアップ（年二回）、サポートグループを通じて親子支援を行っていきます。
- 郊外支援：日本人が集中してない場所に出張をして JB Line の活動を紹介。またその地の日本人を繋コミュニティを生み出すことを目指しています。
- Fundraising：今まで JB Line Week として 10月に行っていたファンドレージングを2月に移し、現在行っています。団体の運営・活動との両立は難しいですが、コミュニティからの支援を実感できるとありがたいです。

以上15団体から報告